



注目のシステムインテグレーター

株式会社エコライフインターナショナル
会長 井手 錠

施主に
必ず利益を
もたらすが、
最大の動機

追尾システムを通常架台と変わらない価格で提供

創業43年の老舗が、他に先駆けて革新的な1歩を踏み出した。「追尾システム架台の現実化」。そのメリットは重々承知していても、コスト面で「非現実的」と烙印を押されてきた追尾システムを、手に届くところまで引き寄せた「豪腕」。株式会社エコライフ・インターナショナル 井手会長に話を訊いた。



施主が必ず利益を出す——それは追尾システムの追求

追尾システム架台とは、太陽の方向や角度に応じて、自動的にモジュールの傾斜角を調整してくれるもの。一般的に1軸追尾システムで発電量は30〜40%UP、2軸追尾システムで50〜60%UPさせることができる合理的な架台だ。ただし、一般的な架台を導入するよりは、イニシャルコストが5倍にも膨らむ「ハイコスト」が合わないと言われてきた。

しかし「コストを合わせる」ことに成功したと語るのは株式会社エコライフ・インターナショナルの井手会長だ。同社は角度調整架台（季節）ごとに手動調整と、追尾システム架台3種類（傾斜角を自動調整）を、驚異的な低コストにできる取扱いを始めたという。

カーから直輸入することで、角度調節架台でkW単価3.9万円、1軸追尾架台で5.9万円、1.5軸で6.9万円、2軸でも7.9万円を提供することができると（井手会長）。

なるほど、これならは通常架台を使った他社の固定架台の単価とほぼ変わらない。ユーザーからすれば、導入コストは据え置きで、発電量だけ大幅にアップする感覚で導入できる。同社はこれを今後の販路戦略の軸としていく構えだ。さらには「日本初といえる」追尾システム付き分譲ソーラーの販売も今秋に予定している。

「我々の動機は、発電設備を作る、ことだけじゃなく、お施主様の発電事業を成功させること。発電設備を安心して運用していただくために、我々は考えられるものは全部やる。」その言葉を裏付けるように、同社は画期的なサブリース型の「お任せ安心

プラン」でさらなる躍進を図る。これは、年間の予想発電量を12ヶ月で割り、20年間固定金額を支払うという画期的なシステムだ。このプランを選択することで、ユーザーはメンテナンスの心配や、雨の多い時季の発電量低下などを心配する必要がなくなる。これは同社の徹底した定期メンテナンス体制に対する自信の表れ。他社にはなかなか真似できない仰天プランといえる。

これぞ20年間ユーザーと向き合う姿勢。こうした志ある人物の革新的思考が、業界をさらなる高みへと導いてくれるかもしれない。

株式会社
エコライフインターナショナル
会長 井手 錠
Joe Ido

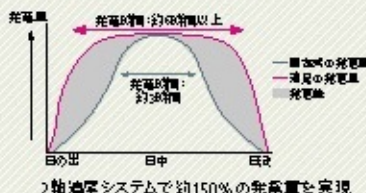
叔父である先代の多大な影響を受け、イギリスとアメリカに合計4年間留学。その後1992年より13年間ほど、シンガポールで合計5社の現地法人を設立運営した。長年の海外経験により、物事を様々な角度から捉え、クリエイティブな習慣を身につけた。今後は、業界の枠にとられないポジティブな発想で躍進を続ける。

POINT

追尾システム架台の低コスト化に自信



台湾で実績のあるメーカーによる追尾架台 ※写真が裏面より1軸



2軸追尾システムで約150%の発電量を実現

コスト的に非現実だった追尾システム架台も、独自のコネクションと、長く輸入業を営んできた井手氏の貿易手筋で、驚異的な低コストでの仕入れを実現。品質にもこだわり、追尾システムの分野で政府との実績のある台湾大手メーカーと直輸入契約を果たした。

さらなる躍進の鍵！井手会長の仰天プラン

同社が開始した革新的なプランの中で特に話題になりそうなのが、本文中で説明した完全フルメンテナンス型の「お任せ安心プラン」。モジュール清掃、草刈り、点検などをすべて請負い、法定利回りで10〜12%を約束するという。さらに日本初ともいえる「追尾システム付き分譲ソーラー」の販売も今秋に予定。土地の面積に応じて、角度調整架台から3種類の追尾システムまで選んだものを選択（50kW/1畝地備付）し、1600万〜2100万ほどで分譲する。